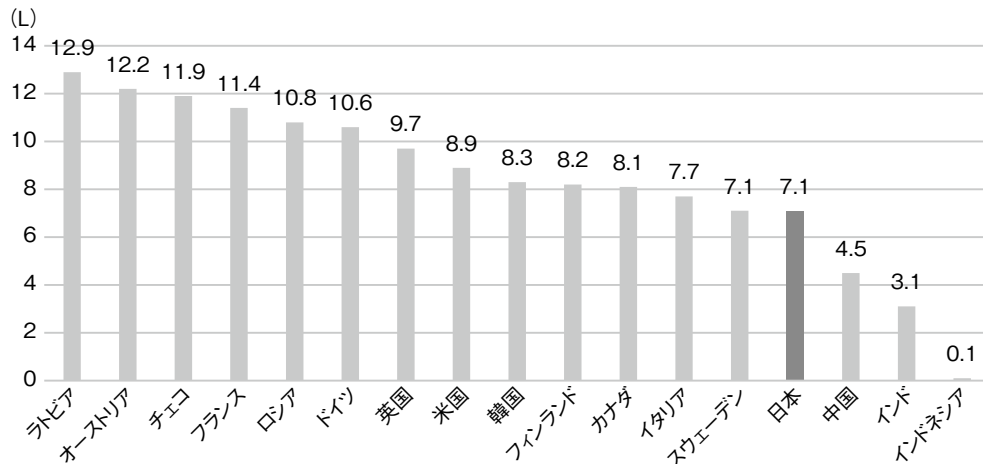


1人当たり年間純アルコール消費量 (15歳以上：2020年ないし直近年)



OECD 調べによる1人当たりの年間アルコール消費量の統計を一部抜粋してグラフにした。OECDによると、年間10Lの純アルコール消費は、ビールなら1週間に4Lほどに相当するという。近年、世界のアルコール消費量は増加の傾向にあるが、特にこの流れを牽引しているのは低・中所得国といわれている。不適切な飲酒が健康に影響を与えるのは自明である。アルコールの健康被害にはWHOも注視しており、2010年には「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」を採択した。一方、市場調査企業のEuromonitor Internationalは、2020年の酒類の消費量が、統計を取りはじめた2001年以来初めて減少に転じたと報告した。コロナ禍による接待控えや社交場の閉鎖が影響したとみられている。

OECD「Health at a Glance」より作表